日本一法
小兒藥王
肝涼圓

此薬小児出生より十五才迄の内万病者多き病ハ第一
ねつハ二三才頃まで速治す其ハ血いろむつかしき病でも等数
一日一ぷく七日用れバ本復する事妙なる事ふしぎなるの程
こなふやきつ病目を見へめんどう病あせもくさ
さやてきヽ用れバたちまち治り其妙也かん一切神ぬむし
むしせきどめ乳合の人まで大くせ虫わくひきつけ
おこりまた或ハ腹いたみ夜なき腹のいたみ癪
乳をはきはらのはりをなおしけいきを治ゆうるはや一切の虫のさし
妙ハ無病の小児でも出生より五才迄の内毎月六服一日三ぷく一廻
まへかたに用れバかんのむしおこりにくし
病ハ毒をしづめにくしむしけ出ることなし
あとりのりあけ末の子すぎ一日三ぷく
やせめの子ハ一日一ぷくもちひれバおくすむし或ハせんきの
よくし虫のいろあをきハ七ふくさゆでもちい
はしかもぞうしに外の薬御用ありて飲合ありし

本家調合所

密田大壽軒